

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	連続体構造小委員会	主 査 名：高山 誠 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会	委員長名：和田 章 主 査 名：大森 博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	シェル・空間構造の中で、連続体構造として代表的なコンクリート系連続体シェル構造を対象として、 ・ 数値解析との比較検証や設計に際しての参考資料としての利用の便を図るため、これまでに蓄積された膨大な実験データのデータベース化の推進 ・ 実用的な設計法の確立を目指して、実験データと解析理論・数値解析モデルとの比較および検証 ・ 以上の成果を基に、連続体シェルの実用的な設計法の確立	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 西村 敏雄(日大) 登坂 宣好(日大) 佐々木 睦朗(法大) 真下 和彦(東海大) 神園 勝彦(日大) 高山 誠(金沢工大) 皆川 洋一(鹿児島大) 三井 和男(日大) 今川 憲英(東京電機大) 前田 寿朗(早大) 原 隆(徳山工業高専) 武藤 厚(名城大) 八木 孝憲(太陽工業)	
設置 WG (WG 名：目的)	鉄筋コンクリート系厚肉床壁構造設計施工法 WG：連続体構造小委員会では、シェル空間構造の中で連続体構造として代表的なコンクリート系連続体シェル構造の実用的な設計法の確立を目指している。コンクリート系厚肉床壁構造物の需要は多く、これらの構造の性能評価や実用的設計法の確立は必要かつ急務である。	
2005 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 5 回新「シェル・空間構造」セミナー 参加者数 未定名 (資料名) 第 5 回新「シェル・空間構造」セミナー - 21 世紀の連続体シェルの可能性 -
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 作成したホームページによる、さらなる実験データの収集。(今年度新たに 10 個の実験データを収集した。) 2. 収集した実験データを分析、整理して「補強コンクリートシェル実験資料集」として出版する。(上記セミナー資料として出版する。) 3. 実験データと解析理論・数値解析モデルとの比較および検証を行い、実用的な設計法の確立を計る。(次年度への継続課題)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 上記 3 番目の目標について、十分な成果が得られなかった。これについては次年度への継続課題としたい。